

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年2月28日

事業所名 多機能型事業所子ども通所サービスあぼろ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	プレイエリア、学習室、運動エリアなど目的別にエリアを確保している	
	2	職員の配置数は適切である	7	0	利用人数に対して適切に職員を配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0	お子さんの特性に合わせて設備改善、構造化をしている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	引継ぎ時や会議のときに目標設定、振り返りなどはその都度、実施している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	保護者からの評価の結果を確認して検討して改善につなげている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	ひらきの里のホームページに載せている	保護者への周知のため文書で伝えていきます
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	0	検討していきたい(支援センターの岡村氏によるコンサルテーションを月一回実施)	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	自閉症eサービスなどのリモート研修に積極的に参加している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	利用児童の課題評価など利用されたときに実施している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	指標のチェックリストや強度行動障がい判定表、フェイスシートを使用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	活動プログラムについては、放課後等デイサービスのリーダーを中心とし行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	固定化しないように内容には配慮している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	休日や長期休暇については、夏祭りやクリスマス会など設定して支援している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	1人1人の特性を理解して個別支援計画を作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	朝の引継ぎを毎日実施している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	支援終了後に振り返りを実施している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	課題や活動は写真をとって評価を実施して記録としている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	年2回のモニタリングを実施している	
関係機	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	0	自立支援できるように学校と連携しながら課題内容や支援計画を共有している その際に成功体験を積めるような内容に配慮している	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	放課後等デイサービスの担当者や主任と会議を設定して児童発達支援管理責任者が参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	担当者会議や保護者を通じて情報共有をしている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	0		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0	必要に応じて情報共有をして相互理解に努めている	

関 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	0	必要に応じて対応している	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	山口県発達障がい者支援センターと連携してコンサルテーションを依頼している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	4	ひらきの里の行事に参加をして地域の子どもたちとの活動をする機会を提供している	引き続き法人のひらきの里の行事への案内していますが今年度もコロナで中止となり実施できませんでした
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	0	子ども部会の役員として協力して積極的に参加している	今年度もコロナのため子ども部会は書面での実施 役員のみ参加
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	分かりやすいように写真や動画、必要に応じて連絡ノート伝えている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	0	保護者からの相談などがあたら家庭で使えるツールやスケジュールなどを一緒に作る時間を設定している	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約のときに実施している 質問があったときにも対応している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	相談があったときには適切に応じ助言、支援を実施している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	2	コロナ感染対策に留意して療育を参観してもらえらる機会、保護者同士の連携の機会を作っている	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	苦情相談窓口を設置して対応している 相談があったときには体制を整えて対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2	会報は発行していないが日々の記録(写真)で保護者に発信している	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	同意書に基づいて十分注意している 不必要になった情報はシュレッダーにかけている パソコン内の情報についての取り扱いにも十分注意している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	分かる方法(視覚的なツールの使用など)や写真などで伝えるようにしている	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	1	ひらきの里のコスモス祭りなどの行事の案内をチラシで周知している		
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	マニュアルを玄関に置いている	玄関に提示しています。実施後の報告は玄関に掲示しています。掲示したことが分かるように実績記録表のサインのときにお伝えできたらと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	年に2回実施している(避難訓練/水害訓練)	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	内部研修(虐待研修)にスタッフ全員参加している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	個別支援計画に記載して、説明をしてサインを頂いて了解を得ている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	契約時に確認をして、必要なケースは医師の指示所を持参してもらい対応をスタッフみんなで周知できるように事務所に掲示したり、回覧で確認している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	ヒヤリハットの報告書を基にスタッフで共有している	